

# 今半物語

## 人形町今半とは

### 浅草の今半・人形町の今半

人形町今半、今半本店、今半別館、浅草今半、代々木今半。

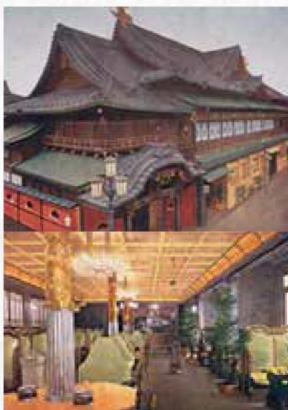
明治三十八年から続く今半は現在東京に五社あり、これらはすべて今半から暖簾分け、独立しました。

人形町今半は昭和二十七年、浅草今半よ  
り「今半人形町支店」として開業。昭和三十一年先代の思いを受け、長男が浅草今半、次男が「人形町今半」として継ぎ、現在にいたっております。

### 今半の名前由来について

明治時代、当時は牛鍋が流行し、「今」と付く屋号がたくさんありました。

今半の「今」は、牛肉を食し始めた頃、政府公認の牛食肉工場が今里村(現、東京芝白金付近)にあり、今里村から仕入れた牛肉のみを使用していたことによるもの、また当時流行った今様(いまよう)の「今」を使ったと言われています。今半の「半」は共同経営者の「半太郎」から屋号を「今半」としました。



当時の今半御殿とその内部

### 当時の今半・今半御殿

当時浅草は日本一の歓楽地域でした。その中で今半は「今半御殿」と言われ、当時の建築技術の粋を集めた建物でした。大正時代の新聞では「今半で景気を占う」という記事が出ていたとの事です。

今半御殿では、まずライオンの口からお湯がお出るお風呂に入り、その後、黄金の鍋により建物倒壊、昭和に入り再建するも、昭和二十年三月十日の大空襲で今半御殿、黄金の鍋もすべてなくなってしまいました。



ミッドランドスクエア



現在の人形町今半 人形町本店



人形町今半 名古屋ミッドランド スクエア店

### そして現在、愛知県には

平成十九年「人形町今半名古屋ミッドランドスクエア店」開業。地上四十一階から眺める絶景と、黒毛和牛を使ったお料理を楽しんでいただけます。おかげさまで愛知県に三店舗展開しております、多くの方々にご愛顧いただいております。

また、令和元年十月、愛知県知立市にお弁当工場を開設。「飲食店の味をお手もとに」と名古屋市・西三河地域にお弁当をお届けしています。

ご自宅で大切な人、職場での会議・研修での会食ご利用いただいております。